

第25回日本有機農業学会大会 プログラム

【1日目：12月7日（土）】

- 9:30～ 受付：A棟（最初の建物）エントランス 1階
*教育農場ツアーに参加希望の方は受付でお申し込みください。
7日、8日どのコースでも参加できます。
*お弁当を注文した方は引き換え券を受け取ってください。
- 10:00～10:15 開会セレモニー
- 10:15～12:15 地域セッション 〈B301教室〉
「有機農業の教育力と地域連携、社会課題解決力」
～恵泉女学園大学における30年のあゆみ～
- 第1報告「生活園芸から社会園芸へ 30年の歩み」
澤登早苗（恵泉女学園大学名誉教授）
- 第2報告「生活園芸から体験学習へ」
菊地牧恵（恵泉女学園大学助教）
- 第3報告「恵泉CSA，コミュニティガーデンの取り組み」
水島栞（恵泉女学園大学社会園芸学科3年）
- 第4報告「福島との連携 東日本大震災と福島キッズキャンプ」
菊池あゆみ（自然派くらぶ生協）
- 12:15～14:00 昼食、ポスター発表（コアタイム）〈C棟2階ロビー・廊下〉
教育農場ツアー 集合時間12時25分（A棟エントランス（受付）の外側）
注：お弁当をお申し込みの方は、戻ってからお受け取りください。
- 14:00～17:00 全体セッション（社会科学系・自然科学系合同）〈B301教室〉
「有機農業の社会的使命とは何か Part1：『地域』の視点で考える」
座長解題：小口広太（千葉商科大学）
- 第1報告「改正食料・農業・農村基本法下の有機農業：
国際動向から考える 課題と展望」
関根佳恵（愛知学院大学）
- 第2報告「現場と研究者の協働で進める有機農業の普及」
三木孝昭（公益財団法人自然農法国際研究開発センター）
- 第3報告「歴史ある有機の里の未来へ：ガラパゴス化を越えて」
小林 温（株式会社おきたま興農舎、山形県高畠町）
- 第4報告「都市における有機農業の可能性」
田島友里子（こばと農園、埼玉県さいたま市）

コメンテーター

鶴理恵子（専修大学）、伊藤亮司（新潟大学）、嶺田拓也

総合討論

* 移動

18:30～20:30 情報交換会（会場：パルテノン多摩 4階会議室1）

【2日目：12月8日（日）】受付：G棟エントランス（カリヨンがあるチャペル手前の建物）

9:00～11:30 個別発表

12:00～13:00 総会、学会賞授与式（昼食）

14:00 集合 エクスカーション（教育農場ツアー）：F棟エントランスの外側

★教育農場ツアーについて

7日（土）地域セッション終了後に、本学の教育農場をご案内するエクスカーションを行います。多摩ニュータウン開発を免れた多摩丘陵の原風景を残した町田市小野路側にあります。農場までは徒歩で片道約5分、見学の所要時間は30～40分を予定しています。集合場所は、エントランスの外側に12時25分です。お弁当をお申し込みの方は戻ってからお受け取り下さい。

8日（日）総会終了後のエクスカーションは、2コースあります。

ショートコースは教育農場のみ、ロングコースでは教育農場と大学の里地里山プロジェクトで管理してきたエリアまで足を伸ばします。ロングコースでは、町田市に残された貴重な里山風景を存分にお楽しみいただけます。

ショートコースは30～40分、ロングコースは80分程度を予定しています。

ポスターセッション一覧

- 「大学農場での有機農業・自然栽培をテーマとした生涯学習講座の展開～作業の一翼を担う一般市民へのサード・プレイスとしての役割について～」
佐々木 良子（明治大学）・原田 勝夫（明治大学）
- 「恵泉CSA9年目の取り組みと今後の可能性」
金丸 穂香（恵泉女学園大学）・水島 栞（恵泉女学園大学）
澤登 早苗（恵泉女学園大学）・菊地 牧恵（恵泉女学園大学）
- 「アグロエコロジーオンラインセミナーの軌跡とこれから」
長谷川 浩（母なる地球を守ろう研究所）
- 「福島県相馬郡飯舘村12区「いいたて結い農園」における経済活動・地域復興を両立するコミュニティ事業の形成経緯と成立条件」
鈴木 敬太（福島大学）
- 「農業集落における農産物販売規模の規定要因
課税売上高に注目した2020年農林業センサスによる接近」
片山 南（京都大学大学院）
- 「岐阜県白川町における堆肥化事業の地域循環モデルと
二本松市東和地区への応用可能性」
牛田ジョシュア昭彦（福島大学）
- 「もみがら堆肥化における温室効果ガス排出の現状と低減策の検討」
鴨志田 純（福島大学）・福島 慶太郎（福島大学）・渡邊 芳倫（福島大学）
金子 信博（福島大学）
- 「不耕起水田における営農型太陽光発電の環境収支」
東 光弘（福島大学）・渡邊 芳倫（福島大学）・窪田 陽介（福島大学）
金子 信博（福島大学）
- 「自由学園那須農場における不耕起栽培への取り組み
活動のまとめと今後への課題」
山田 周太郎（自由学園最高学部）・佐藤 史伸（自由学園高等部）
鈴木 康平（自由学園最高学部）
- 「震災再生農地におけるダイズ不耕起有機草生栽培の導入」

三浦 広志（福島大学）・渡邊 芳倫（福島大学）・窪田 陽介（福島大学）
牧 雅康（福島大学）・金子 信博（福島大学）

○「有機水稻における不耕起栽培とカバークロープ利用の生産性と経済性の解析」

松村潤妃（茨城大学）・中山朋香（茨城大学）・北島あゆみ（茨城大学）
菅井純（茨城大学）・廣瀬航太（茨城大学）・浅木直美（茨城大学）
岡山毅（茨城大学）・庄司浩一（神戸大学）・小松崎将一（茨城大学）

○「環境再生型農業における土壌被覆がビール麦の生育特性に与える影響」

鈴木 将之（福島大学）・渡邊 芳倫（福島大学）・金子 信博（福島大学）

○「有機転換におけるキャベツ栽培体系の確立

I. 異なる土壌管理における土壌化学性とキャベツ収量」

徐 啓聡（自然農法国際研究開発センター）・岩石 真嗣（自然農法国際研究開発センター）
・石綿 薫（自然農法国際研究開発センター）・千嶋 英明（自然農法国際研究開発センター）
・大久保 慎二（自然農法国際研究開発センター）・加藤 茂（自然農法国際研究開発センター）
・降幡 郁子・徐 会連（自然農法国際研究開発センター）・藤山静雄（信州大学）

○「寒冷地の水稻育苗における有機質肥料の種類と施用方法が苗質と活着に及ぼす影響」

今須 宏美（農研機構東北農業研究センター）

○「水素水が土壌細菌叢に与える影響」

青木 俊輔（東京科学大学）山村 雅幸（東京科学大学）

○「積算温度が土壌細菌叢に与える影響」

押久保 純太（東京科学大学）山村 雅幸（東京科学大学）

○「森林土壌における土壌微生物群集構造の解析」

内田 圭哉（東京科学大学） Zhang Yongwei（東京科学大学）
山村 雅幸（東京科学大学）

○「ストレス刺激による土壌微生物群集構造変化の解析」

Zhang Yongwei（東京科学大学） 山村 雅幸（東京科学大学）

○「小規模水田における小型球体ロボットとアイガモ雛の除草能力の比較」

松本 若菜（鹿児島大学）・荒武 暁子（鹿児島大学）・上埜 喜八（佐賀大学）
湯治 準一郎（熊本高等専門学校）・松添 直隆（熊本県立大学）
高山 耕二（鹿児島大学）

- 「山形県における太陽熱処理の雑草抑制効果」
小関彩恵子（山形県農業総合研究センター）・錦秀斗（山形県農業総合研究センター）
森岡幹夫（山形県農業総合研究センター）・大木淳（山形県）・二瓶由美子（山形県農業総合研究センター）
- 「甘とうがらし新品種「新緑甘とう」の育成とその特性
黒あざ果が少ない多収性の固定種」
原田 晃伸（自然農法国際研究開発センター）
徐 啓聡（自然農法国際研究開発センター）
- 「有機野菜は美味しいのか？-耕さない土がつくる野菜の味-」
藁谷 志穂（福島大学）・金子 信博（福島大学）・渡邊 芳倫（福島大学）
深山 陽子（福島大学）
- 「大粒系ブドウの有機栽培適応性に関する品種間差異」
半田愛奈（茨城大学）・村田義宏（茨城大学）・中村英治（ベテル未来株式会社）
中島雅己（茨城大学）・小松崎将一（茨城大学）

個別発表一覧

【社会人文科学系会場 G201教室】 12月8日 9:00-11:30

時間	座長	発表者	所属	タイトル	番号
9:00 ～ 9:20	山本奈美 (京都大学)	引間 彩 ¹⁾ 茂木もも子 ²⁾ 上西 良廣 ³⁾	1) 株式会社農 都共生総合研 究所 2) 東京農業大 学 3) 九州大学	有機給食展開地域に おける農業者の属性 別での有機農業導入 動機 —千葉県いすみ市を 事例として—	社1
9:20 ～ 9:40		谷口 吉光	秋田県立大学	韓国華城市における 親環境無償給食の実 態	社2
9:45 ～ 10:05	横田茂永 (静岡県 立農林環 境専門職 大学)	土屋 憧真	京都大学農学 研究科博士後 期課程	農業における身体知 の役割 慣行農法から自然農 業への農法転換に注 目して	社3

10:05 ～ 10:25		荒木和秋	酪農学園大学	北海道における有機畑作と慣行畑作の経営比較	社4
10:30 ～ 10:50	中塚華奈 (摂南大学)	村本穰司	カリフォルニア大学サンタクルーズ校	アグロエコロジーと有機農業：持続可能なフードシステムと社会の構築に向けて	社5
10:50 ～ 11:10		日鷹 一雅	現愛媛大学大学院農学研究科・農生態学 4月より、ただのアグロエコロジスト	有機農業に関するアグロエコロジーの基礎的研究(0) ～なぜ、農薬・化学肥料の無投与にこだわってきたのか？～	社6
11:10 ～ 11:30		久保田裕子	元國學院大学	2025年「あきたこまちR」問題と「有機JAS」の危機 —重イオンビーム利用の放射線育種をめぐって—	社7

【自然科学系会場 G101教室】12月8日 9:00—11:30

時間	座長	発表者	所属	タイトル	番号
9:00 ～ 9:20	嶺田拓也	岩石 真嗣 ¹⁾ 石井 圭一 ²⁾ 西田 瑞彦 ²⁾ 小松崎 将一 ³⁾	¹⁾ 公財) 自然農法研センター ²⁾ 東北大学 ³⁾ 茨城大学	イタリア北部の有機直播稲作に見られた耕種的雑草管理技術の特徴	自1
9:20 ～ 9:40		小松崎 将一	茨城大学	有機農業におけるイノベーションに関する考察 —不耕起栽培とカバークロップの利用を中心に—	自2
9:40 ～ 10:00		青木 一弥 上原 隆彰 高橋 秀治	東京科学大学	野生動物農作物被害軽減に向けた被害対策音響システム開発に関する基礎研究	自3

10:05 ～ 10:25	伊藤 崇浩 (新潟食料 農業大学)	加藤孝太郎 ^{1,2)} 宮島一将 ¹⁾ 濱口一宏 ¹⁾ 大坪誠治 ³⁾ 園田純子 ⁴⁾ 園田俊郎 ⁵⁾ 牧美輝 ^{3,6)}	1) (公財) 農業・環境・健康研究所 2) (一財) MOA 健康科学センター 3) (医財) 光輪会光輪会鹿兒島クリニック 4) (株) Satsuma Green Tea 5) (社医) 聖医会サザン・リージョン病院 6) (社福) 青島会)	有機農業および慣行農法の施肥管理で栽培されたニンジン圃場における 土壌細菌およびニンジン根部常在細菌群集の年次変化	自4
10:25 ～ 10:45		甲斐貴光	人間環境大学	有機栽培と慣行栽培によるリンゴ園地の土壌環境と果実の栄養成分	自5
10:50 ～ 11:10	田中治夫 (東京農工 大学)	岡根慧美 ¹⁾ 成澤才彦 ²⁾	1) 茨城大・院農 2) 茨城大・農	イチゴ炭疽病を抑制するDark septate endophytesの選抜	自6
11:10 ～ 11:30		増田匠海 ¹⁾ 成澤才彦 ²⁾	1) 茨城大・院農 2) 茨城大・農	イチゴに高温ストレス耐性を付与するDark septate endophyteの選抜	自7
11:30 ～ 11:50		宮原太郎 ¹⁾ 大竹勝 ²⁾ 成澤才彦 ¹⁾	1) 茨城大学・院農 2) 日本甜菜製糖(株)	Dark Septate Endophytic fungi を用いたゴボウ栽培に関する研究	自8

【展示ブース 出展団体】 7日 A棟1階ロビー、B棟2階の踊り場
8日 G棟1階ホール、F棟1階ラウンジ

自然派くらぶ生活協同組合

姫鋤本舗 株式会社堤製作所

パタゴニア

一般社団法人 農山漁村文化協会

RIKKA Design Werx

株式会社TERRA

株式会社ソーラーシェアリング総合研究所

エディブルメディア

いばらき有機農業技術研究会

茨城大学

福島大学

